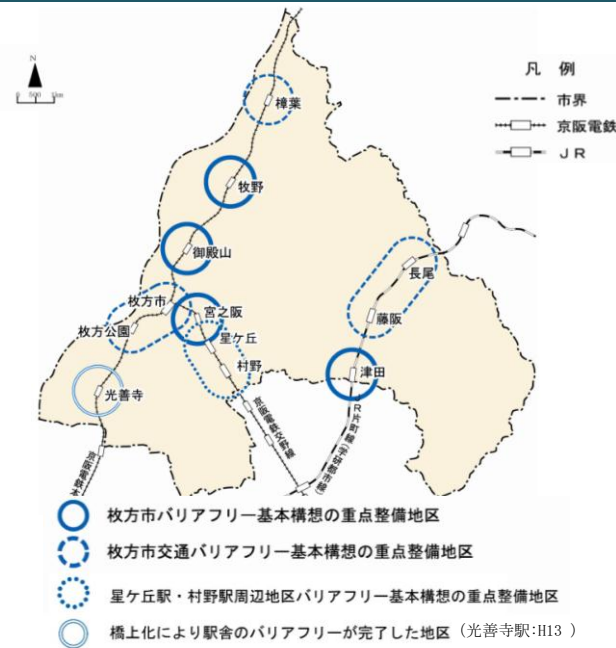


【1. これまでの経緯】

平成12年11月	高齢者、身体障害者等の公共交通機関を利用した移動の円滑化の促進に関する法律(交通バリアフリー法)施行
平成17年4月	◆枚方市交通バリアフリー基本構想策定 (枚方市駅・枚方公園駅、樟葉駅、長尾・藤阪駅)
平成18年12月	高齢者、障害者等の移動等の円滑化の促進に関する法律(バリアフリー新法)施行
平成21年6月	◆枚方市バリアフリー基本構想策定 (枚野駅、御殿山駅、宮之阪駅、津田駅)
平成22年11月	◆星ヶ丘駅・村野駅周辺地区バリアフリー基本構想策定 (星ヶ丘駅・村野駅)

【2. 基本構想における重点整備地区位置】



【3. 中間検証の目的と方法】

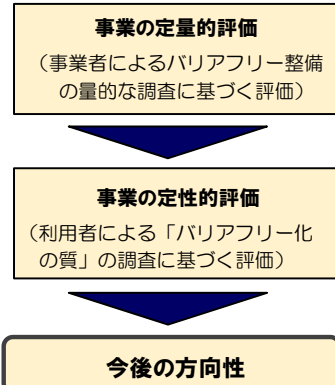
<中間検証の目的>

中間検証は、「スパイラルアップ(段階的・継続的な発展)」により、さらなる事業の推進や、効果的な事業の実施等を目的とします。



※平成28年度時点で、全ての基本構想の整備目標時期の「長期(Ⅲ期)」に入ることから、H28年度に中間検証を実施することとします。

<中間検証の方法>



	短期	中期	長期
枚方市交通バリアフリー基本構想	H17~H19	H20~H22	H23~
枚方市バリアフリー基本構想	H21~H22	H23~H27	H28~
星ヶ丘駅・村野駅バリアフリー基本構想	H22~H24	H25~H27	H28~

【4. 中間検証の結果及び今後の方向性】

定量的評価

事業の定量的評価では、各施設ごとにバリアフリー化事業の「進捗率」と、今後、進捗状況の改善が見込まれる整備項目を考慮した「総合評価値」により評価し課題を抽出しました。

■施設別進捗状況

鉄道	道路	駅前広場	信号交差点	建築物都市公園	車両等
84.8%	65.5%	70.8%	100.0%	44.1%	76.5%

※ 市内、全12駅については移動円滑化経路の確保済

基本構想	課題	今後の見込み
H17交通バリアフリー基本構想	・施設の構造的な条件や大規模な改修が伴う等から整備が難しい。	小
H21バリアフリー基本構想 H22星ヶ丘駅・村野駅基本構想	・未着手の施設が多く、連続したバリアフリー環境が確保できない。	大

※ 進捗率の評価と総合評価を比べ、評価が上がる施設が多いほど、事業の進捗が見込まれます。

定性的評価

「施設の使いやすさ」等の観点から枚方市駅及び周辺地区の現場調査等により評価し、課題を抽出しました。

■駅に関する課題

未整備項目に関する課題

- ・基本構想で定める整備項目が未着手(待合室の自動ドア化等)
- ・整備には大規模改修等が必要で早期に着手ができない(券売機下の蹴り込み部分等)

整備済項目に関する課題

- ・移動円滑化基準に則った整備済みだが、利用面で課題(トイレへの視覚障害者の誘導方法等)

整備項目以外に関する課題

- ・音声による案内・誘導が不十分である
- ・施設が利用しづらい場所や大きさである等(券売機やトイレ、エレベーター等)

■道路に関する課題

- ・維持管理に関する課題(舗装面のがたつき、視覚障害者誘導用ブロック付近への駐輪等)

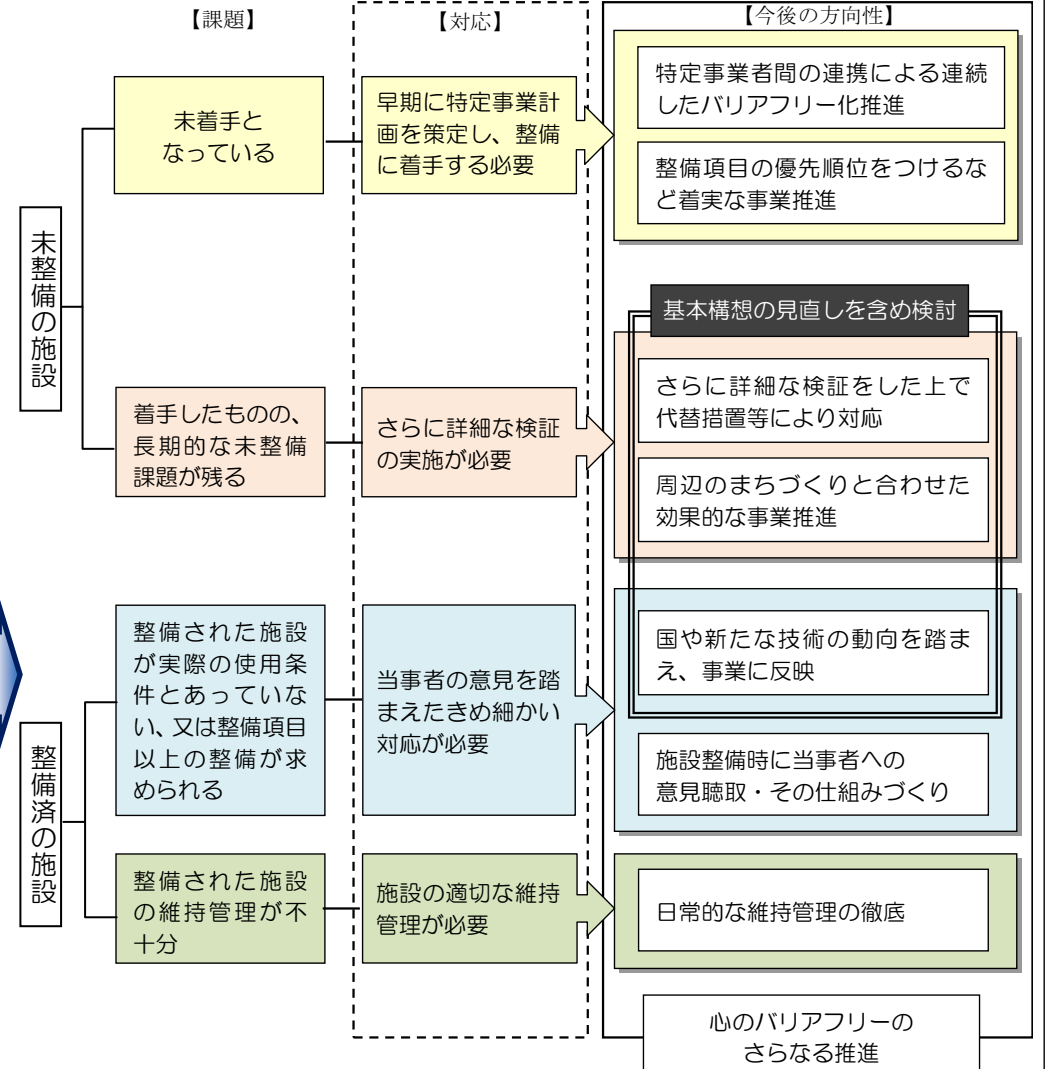
留意すべき事項

<現況の変化>

- ・重点整備地区の周辺状況の変化
- ・障害者差別解消法の施行
- ・ユニバーサルデザインへの配慮
- ・災害時や緊急時への対応
- ・移動円滑化ガイドライン(国交省)の改定の対応

<将来の状況>

- ・周辺のまちづくりとの連携
- ・上位計画、関連計画との整合性



【5. バリアフリー事業の推進体制】

